

その他の公共施設

施設概要

◇まちづくりプラザ

中心市街地の活性化や市民交流の拠点の創出のため、平成12年3月に民間企業から購入し、現在は、施設に事務所を置く団体による市民活動支援事業などが行われています。

◇際波教職員住宅

教職員の福利厚生を充実させることで人事行政を円滑に行うため整備したもので、市内小中学校に勤務する教職員を対象に居住させています。

◇旧ガス事業庁舎

公営ガス事業用の施設として設置されましたが、平成25年の事業廃止以後は、民間への貸付や倉庫として活用しています。

◇旧市営駐車場

道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するとともに、都市の機能維持及び増進に寄与することを目的に市営駐車場として整備しましたが、中心市街地の変遷や今後のまちづくりを踏まえ、令和元年度をもって市営駐車場事業を終了としました。現在、その土地を民間に貸し付けて、有効利用し、中心市街地の活性化を図っています。

◇消防庁舎

消防行政を行うため宇部・山陽小野田消防組合に貸し付けて、消防職員が災害対応・消防事務を行うだけでなく、民間の事業所担当者や地域防災を担う市民が各種届出や訓練参加の窓口として利用するなど、市民の安心・安全を守るため必要不可欠な防災拠点施設として整備されています。

◇旧吉部小学校

昭和38年度に小学校として整備され、小学校移転後は地域活性化のためのイベント会場やカフェとして利用しています。

◇旧山口井筒屋宇部店

今後、宇部市が中心市街地における多世代のにぎわい創出の拠点としていくために取得した建物で、解体または改修して新たに利活用するため、ゼロベースで再検討しています。

この間（令和3年度）、既存建物を活用し、「常盤町1丁目スマイルマーケット」（トキスマ）として運営していきます。

◇宇部市駐車場（立体駐車場）

主に市役所に来庁される市民のための駐車場として整備され、近隣施設の利用者を含めた市民の駐車場及び公用車駐車場として使用しています。

令和2年4月1日現在の施設概要

施設名称	地区	建築年度	築年数	構造	耐震化		延床面積 (㎡)	運営	防災 施設
					診断	改修			
まちづくりプラザ	神原	昭和48年度	46年	R C	未	未	768.14	直	非該当
際波教職員住宅	西宇部	平成2年度	29年	R C	不要	不要	444.12	直	非該当
旧ガス事業庁舎	神原	昭和41年度	53年	R C	未	未	1,549.74	直	非該当
旧市営駐車場	新川	昭和49年度	45年	S	未	未	2,867.69	委	非該当
宇部・山陽小野田消防局 中央消防署	神原	昭和63年度	31年	R C	不要	不要	3,241.28	直	該当
西消防署	厚南	昭和52年度	42年	R C	未	未	847.62	直	該当
中央消防署 東部出張所	西岐波	昭和54年度	40年	R C	未	未	460.86	直	該当
西消防署 北部出張所	二俣瀬	平成6年度	25年	R C	不要	不要	520.65	直	該当
西消防署 楠出張所	船木	平成29年度	2年	R C	不要	不要	676.09	直	該当
旧吉部小学校	吉部	昭和38年度	56年	R C	未	未	1,082.47	直	非該当
旧山口井筒屋宇部店	神原	昭和52年度	42年	S	済	一部未	15,814.37	委	非該当
宇部市駐車場（立体駐車場）	神原	令和元年度	0年	S	不要	不要	4,080.80	直	非該当

※RC・・・鉄筋コンクリート造、S・・・鉄骨造、CB・・・コンクリートブロック造、W・・・木造

【備考】

- ・ 建築年度、築年数、構造、耐震化は、主たる建物の状況を記載しています。
- ・ 耐震化について、昭和57年以降の建築物（新耐震基準）、耐震診断により新耐震基準を満たしていることが判明した建築物は、「不要」と記載しています。
- ・ 運営について、直営は「直」、指定管理は「指」、委託（指定管理を除く。）は「委」と記載しています。
- ・ 防災施設について、災害時に避難所、緊急避難場所、防災拠点として使用される施設は、「該当」と記載しています。

施設評価及び今後の方向性

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
商工振興課	B	A	A	C	0点	3点					
まちづくりプラザ	評価結果の分析				評価結果の分析						
	1階は地域FM局、2階は市民活動センター、3階の1部屋は民間事務所、4階の1部屋はフードバンクで使用中等であるが、築後46年を経過して老朽化のため4階の空き室では雨漏りしている。耐震診断は未実施で、隣接の建物や商店街のアーケードも接しており大規模な改修は困難。				中心市街地の活性化、市民交流の拠点の創出を目的として、民間企業から購入したものの。現在では、行政として保有する施策上の必要性は低い。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	機能移転				売却						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説 明										
	昭和48年度に建築され46年経過した施設である。老朽化に加えて隣接の建物や商店街のアーケードも接しており大規模な改修は困難である。民間利用も含め、市民活動センターの機能を移転後、解体又は売却を検討する。										
学校教育課	C	A	B	A	0点	1点					
際波教職員住宅	評価結果の分析				評価結果の分析						
	入居者の減少から、利用状況の点数が低い。ハード面については良好である。				利用状況が設置目的と合致しておらず、設置目的の有効性は低い。 民間の賃貸住宅への機能の代替が可能である。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	廃止				売却						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説 明										
	利用者が年々減少したことで空き部屋が多く、今後の利用回復も見込めず、民間の賃貸住宅で代替が可能であることから廃止とする。 平成2年度建築でハード面についての評価点は良好のため、売却を検討していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
財政課	C	A	B	A	0点	0点					
旧ガス事業庁舎	評価結果の分析				評価結果の分析						
	昭和41年度建設で耐震診断は未実施であるが、小規模修繕を行いながら現状維持とする。				建物の有効な利活用に向けて検討する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性			建物の方向性							
	廃止			売却・貸付							
	スケジュール					対策費（千円）					
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
	公営ガス事業用の施設として設置されたが、平成25年の事業廃止以降は行政目的及び将来の利用計画がない売却可能資産となっている。昭和41年度建設で、耐震診断未実施の施設であるため、当面は倉庫として使用しつつ、さらなる有効な利活用（新たな投資の抑制）に向け検討する。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
都市計画・住宅課	A	A	A	C	1点	3点					
旧市営駐車場	評価結果の分析				評価結果の分析						
	周辺商店街の衰退などにより利用者は減少しているが、通勤者等の定期利用により安定的な収入を確保している。新町有料駐車場は、老朽化により大規模改修が必要となっている。				市営駐車場事業を民間の運営手法を活用し、効率的な利用促進と利便性の向上を図るため、当事業を終了し、今後は中心市街地の活性化に向けて、民間活力の活用を図る種地としての可能性等について検討する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性			建物の方向性							
	廃止			解体							
	スケジュール					対策費（千円）					
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	71,433
	説明										
	民間の経営手法を活用した効率的な運営と利便性向上による利用促進を図るため、令和元年度をもって市営駐車場事業を廃止した。廃止後は、寿町第一及び寿町第二有料駐車場は、民間に貸し付け、駐車場として活用しつつ、中心市街地活性化との整合性を図りながら、今後の有効活用を検討していく。新町有料駐車場は令和2年度中に解体し公用車駐車場として整備する。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
防災危機管理課	A	A	A	C	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
宇部・山陽小野田 消防局 中央消防署	消防行政のため職員・市民が利用している 防災拠点であるが、建物の老朽化が進んで いる。平成24年度に屋上防水シート張替を 実施した。				消防組合の条例で定められた消防本部とし ての機能及び宇部中央消防署の管轄（常 盤、神原、藤山区域等）の消防事務を担っ ている。消防施設は、代替施設等が考えに くいため、引き続き防災拠点としての機能 を維持しながら利用する必要がある。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 0
	説 明										
昭和63年度に建設された築後31年が経過する耐震性を有する施設である。 日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
防災危機管理課	A	B	A	C	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
西消防署	消防行政のため職員・市民が利用している 防災拠点であるが、昭和52年度建設であ り、建物の老朽化が進んでいる。				消防組合の条例で定められた宇部西消防署 の管轄（厚南、黒石、西宇部、原区域等） の消防事務を担っている。消防施設は、代 替施設等が考えにくいため、引き続き防災 拠点としての機能を維持しながら利用する 必要がある。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				更新						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 755,505
	説 明										
昭和52年度に建設された築後42年が経過する庁舎であるため、施設の劣化状況等を総合 的に判断し、概ね築45年を経過する時期を目途に、消防敷地内に建替更新を進めてい く。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
防災危機管理課	A	C	A	C	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
中央消防署 東部出張所	消防行政のため職員・市民が利用している 防災拠点であるが、昭和54年度建設であり、 建物の老朽化が進んでいる。				消防組合の条例で定められた宇部中央消防署の 管轄のうち宇部市東部地域（東岐波、西岐波区域等）の 消防事務を担っている。消防施設は、代替施設等が考えに くいため、引き続き防災拠点としての機能を維持しながら 利用する必要がある。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				更新						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 519,870
	説明										
昭和54年度に建設された築後40年が経過する耐震診断を実施していない庁舎であるため、概ね築45年を経過する時期を目途に、消防敷地内に建替更新を進めていく。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
防災危機管理課	A	B	A	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
西消防署 北部出張所	消防行政のため職員・市民が利用している 防災拠点で、平成6年度建設後、大規模な 修繕項目は今のところない。				消防組合の条例で定められた宇部西消防署の 管轄のうち宇部市北部地域（厚東、二俣瀬、 小野区域等）の消防事務を担っている。消防施設は、 代替施設等が考えにくいため、引き続き防災拠点として の機能を維持しながら利用する必要がある。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 0
	説明										
平成6年度に建設された築後25年が経過する耐震性を有する庁舎である。日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
防災危機管理課	A	B	A	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
西消防署 楠出張所	消防行政のため職員・市民が利用している 防災拠点で、平成29年度建築後、大規模な 修繕項目は今のところない。				消防組合の条例で定められた宇部西消防署 の管轄のうち宇部市楠地域（船木、万倉、 吉部等）の消防事務を担っている。消防施 設は、代替施設等が考えにくく、引き続き 防災拠点としての機能を維持しながら利用 する必要がある。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 0
	説 明										
	平成29年度に建設された庁舎であり、日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
北部地域振興課	A	A	A	C	3点	2点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
旧吉部小学校	イベント会場やカフェ等で地域の活性化の ため有効活用されているが、施設の老朽化 により毎年修繕が必要な状況である。				北部地域活性化の拠点としての機能があり 必要性は高いが、老朽化に伴い機能移転の 検討を行っていく。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	機能移転				売却						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 0
	説 明										
	昭和38年に建設され、築後56年を経過する耐震診断未実施の施設である。現在は有効活 用されているが、今後、更に施設の老朽化が進み、多くの修繕が必要になると考えら れ、また、安全性の面から、令和11年度を目処に、機能移転後の廃止を検討する。										

担当課	1次評価（定量評価）					2次評価（定性評価）					
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
中心市街地にぎわい 創出推進グループ	—	—	—	C	—	—					
	評価結果の分析					評価結果の分析					
旧山口井筒屋宇部店	店舗部分の5、6階は、耐震性に問題があるため、建物改修を実施する場合は、解体して減築する必要がある。					評価対象外					
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性					建物の方向性					
	検討中					検討中					
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 未定
	説明										
令和3年12月を目標に当該建物の利活用方針を決定する。											

担当課	1次評価（定量評価）					2次評価（定性評価）					
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
総務管理課	A	A	A	A	3点	0点					
	評価結果の分析					評価結果の分析					
宇部市駐車場 (立体駐車場)	令和元年度に新設した建物であり現状維持とする。					中心市街地への集客及び来庁者用として必要性は高く、代替の可能性は低い。					
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性					建物の方向性					
	現状維持					現状維持					
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	対策費（千円） 0
	説明										
令和元年度に、中心市街地への集客及び来庁者用として建設した建物であり、現状を維持していく。											